

平成27年 8 月 1 8 日

陳情第13号

送迎保育ステーション設置についての陳情書

送迎保育ステーション設置についての陳情書

【陳情趣旨】

私達は、新幹線等で長距離通勤をしながら子育てをしております。主に結婚・妊娠・転勤するに当たり、夫の赴任地である小田原に引っ越してきました。結婚前から勤務する会社に正社員として継続勤務しております。クチコミで会員数30人を超えるようになり、月に1回集まって保育に関する情報交換や日頃の悩み事を相談しています。

小田原市は新幹線の停車する駅であり、都心だけでなく、隣県に通勤する者にとって利便性が高く、引っ越しや転勤があっても住み続けることができます。かつ、歴史深く、自然豊かで、住環境もよく、共働きで子育てするにあたり、とても魅力ある都市です。

しかしながら、市外から移り住んだ私達は祖父母等の親類の支援を受けられず、毎日を綱渡りのように感じながら、仕事と子育ての両立に悩んでおります。保育園への送迎が子育てと仕事を両立するための重要な条件であるにも関わらず、小田原駅周辺の保育の利便性は高いとは言えません。このため、私達は、駅から離れた立地の保育園に送迎の負担が重くのしかかることを覚悟して入園するか、その希望すら叶わずに待機児童となるか、選択を余儀なくされています。前者は、ゆっくりとしか歩けない子供を駅とは逆方向の保育園に連れていき、預けて、急いで駅に向かいます。長距離通勤をする親にとって、時間的制約の大きい中、毎日非常に大変です。後者は、最悪の場合には育児休業の終了時に復職できず、築き上げたキャリアをあきらめざるを得ません。数字に表れていなくても、保育環境と仕事の両立が厳しくなるといずれ離職せざるを得なくなります。

そこで送迎保育ステーション（市内の保育園と送迎保育ステーションをバス等で結び登園・降園するシステム）の設置を陳情いたします。①送迎保育ステーションは市内の空いている保育園への送迎をすることで、送迎が物理的に困難という理由で第1希望の園以外を実質的に選択できずに生じる待機児童および潜在的待機児童を減らし、郊外保育所の利用を促進できます。②通勤の拠点である小田原駅周辺で保育園に通う子どもの送迎が可能になると、保育時間の実質的な短縮につながり、保護者・子ども・保育園の負担が軽減されます。駅周辺で過ごす時間が増え、駅前経済の活性化につながります。③送迎保育ステーションに複数の保育園の子どもを集めることで、延長保育の効率化が図れ、保育士不足改善も期待できます。④送迎保育ステーションは、園庭等の制限がなくビル内に設置できるため、新規に保育園等を設置するよりハードルが低い施設となります。また、朝夕の送迎以外の時間に、一時保育施設や子育て支援センターの機能として活用できると思われます。（昼間は子育て支援センターやファミリーサポートセンターとして活用することで育児支援施設の窓口一元化や集積化・効率化が可能です。）

せまりくる少子高齢化の中、保育環境が整った中で女性が働き続けることは、子供も納税者も増え、小田原市の活性化につながります。送迎保育ステーションは千葉県流山市、横浜市にて実際に導入されて、自治体のイメージアップにもつながっています。つきましては下記のように陳情申し上げます。

【陳情項目】

『小田原駅周辺における送迎保育ステーションに対してのニーズ調査および設置』

平成27年8月18日

小田原市議会議長

武松 忠 様

提出者

小田原市荻窪453-1

エステートピア小田原301

長距離通勤するママネットワーク

小田原通勤ネットワーク

代表 加茂 圭子 ㊞